

アカショウビン

Halcyo coromanda major

ブッポウソウ目 カワセミ科

カテゴリー

大分県 II

環境庁 掲載なし



平地から山地の溪流沿いなどの、よく茂った湿気のある落葉広葉樹林に、夏鳥として生息し、朽木や斜面に穴を掘って営巣する。薄暗い林で、両生類、爬虫類、甲殻類などを捕食する。全身が赤褐色であるのが特徴。雨が降ると「キョロロロロー」と尻下がりの声でよく鳴く。カワセミと同じように、捕らえた餌を枝などにたたきつけ、殺してから丸のみする。道路などの開発により、生息環境が悪化したため、生息数が減少している。

(写真：長谷部和宏 文：島岡 章)

県内分布 全県の平地から山地の溪流に生息する夏鳥。

分布域 亜種アカショウビンは北海道，本州，四国，九州，種子島，屋久島で繁殖する夏鳥。奄美諸島以南には別亜種リュウキュウアカショウビンが留鳥。朝鮮半島，日本，台湾で夏鳥。東南アジアで留鳥。